

平成25年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
研究進捗評価 現地調査報告書

研究課題名	経済格差のダイナミズム：雇用・教育・健康と再分配政策のパネル分析
研究代表者名 (所属・職)	樋口 美雄（慶應義塾大学・商学部・教授）

【評価コメント】

本研究は、家計に関する大規模パネルデータの継続的構築・公開を進めながら、経済格差のメカニズムについて応用ミクロ経済学をベースに多角的・動学的に分析するものである。

当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待通りの成果が見込まれる。

初年度（平成24年度）においては、交付額が応募額の半額未満という条件ながら、資源配分と実施体制を工夫し、第2年度に実施予定のパネル調査の設計・準備を着実に進め、平行して、既存のパネルデータを使った実証研究、内外でのデータ公開に向けての作業についても着実に進めている。特に、当初の計画にはなかった二つのパネル調査の統合という困難な課題に向けて丁寧な検討作業に取り組んでおり、また、今後の実証研究のための一つの鍵となる可処分所得の推計プログラムについても成果を上げつつある。

第二年度以降は、統合されたパネル調査の実施とその公開を着実に進めるとともに、蓄積されたデータに基づいた経済格差のダイナミズムに関する多角的な実証研究の成果を生み出していくことが期待される。特に経済格差のダイナミズムに関する分析においては、分担者間の連携を通じて、多角的な観点を統合するような研究成果や、家計パネルデータと企業パネルデータを連関する研究成果などがより多く生み出され、そこから意義ある理論的貢献や実践的知見が導き出されることを望みたい。